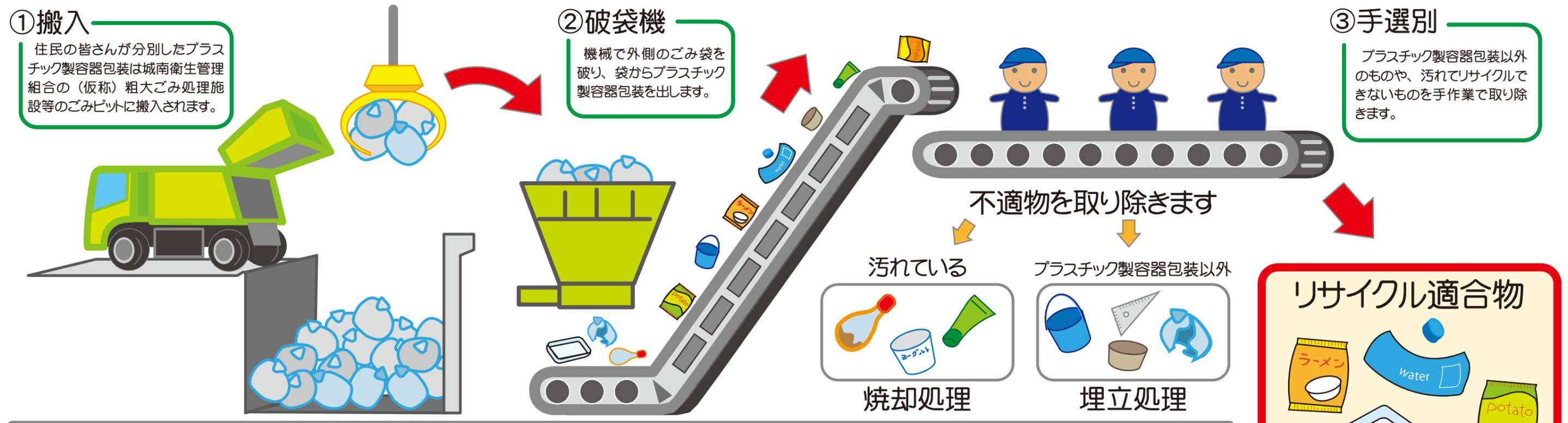
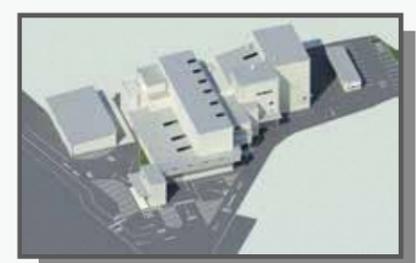


プラスチック製容器包装の



施設概要

名称：(仮称) 粗大ごみ処理施設
 所在地：城陽市富野長谷山1の270
 処理能力：17t/日 (5時間)



みなさんのものもよく

マテリアル (材料) リサイクル

廃プラスチックを溶かしてもう一度プラスチックの原料にして新しい製品を作ります

プランター

擬木

パレット

写真出典：公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

ケミカルリサイクル

化学的な処理をして、化学原料や鉄を作るときの還元剤などに利用されます

ガス化

廃プラスチックを高温で熱分解してガスにし、回収した水素や一酸化炭素はアンモニアなどの原料に使われ、ナイロン繊維やアクリル繊維になります。

高炉還元剤化

廃プラスチックをコークスの代わりに使い、鉄を作ります。

コークス炉化学原料化

廃プラスチックを石炭と混ぜてコークス炉に入れます。高温で熱分解され、高炉の還元剤となるコークス、化学原料となる炭化水素油、発電などに利用されるコークス炉ガスができます。

イラスト出典：一般社団法人 プラスチック循環利用協会

⑥再商品化事業者

プラスチック製容器包装のリサイクル方法は、容器包装リサイクル法で定められており、リサイクルを行う事業者についても、国が指定した法人(公益財団法人日本容器包装リサイクル協会)が、毎年入札により決定します。

⑤運搬

再商品化事業者(リサイクル工場)へ運搬します。

④圧縮・梱包・保管

保管・運搬しやすいように機械で圧縮・梱包します。